

授業科目

産業保健学

担当教員名 羽柴 正夫	対象学年	3・4	対象学科	救急
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	

授業の概要

産業保健は一次産業から三次産業まで、すべての産業・職域を対象とするが、産業革命以降の工場労働者で生じた多くの衛生上の問題を踏まえて最も体系化されてきたのは、被雇用者の主に事業所における保健であり、本科目でもこれを中心に学ぶ。総論においては、歴史的経緯を踏まえた現行諸制度を概括し、現代の労働環境を取り巻く諸問題を整理する。各論においては、職業起因性のさまざまな有害因子を順次取り上げ、それぞれが誘発し得る疾病、障害とその予防策について学ぶ。

授業の目的

1. 産業保健の必要性・重要性および職場における労働安全衛生組織のしくみを修得する。
2. さまざまな職業起因性の有害因子の特徴、およびそれらが誘因となる疾病や障害の発生と予防策について修得する。

学習目標

1. 産業保健の必要性・重要性および職場における労働安全衛生組織のしくみを理解する。
2. さまざまな職業起因性の有害因子の特徴、およびそれらが誘因となる疾病や障害の発生と予防策について理解する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	産業保健の現状・労働安全衛生組織	講義	羽柴 正夫
2	安全衛生管理	講義	羽柴 正夫
3	温熱、赤外線	講義	羽柴 正夫
4	RI、電離放射線、UV	講義	羽柴 正夫
5	化学物質概論	講義	羽柴 正夫
6	粉じん、金属	講義	羽柴 正夫
7	騒音	講義	羽柴 正夫
8	振動	講義	羽柴 正夫
9	酸欠、有害ガス	講義	羽柴 正夫
10	有機物、有機溶剤	講義	羽柴 正夫
11	特化物	講義	羽柴 正夫
12	ストレス、過労、自殺	講義	羽柴 正夫
13	疲労、VDT、腰痛	講義	羽柴 正夫
14	職場のメンタルヘルス	講義	羽柴 正夫
15	職場の健康診断、まとめ	講義	羽柴 正夫

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	衛生管理（上）第一種用 改訂第7版	中央労働災害防止協会	中央労働災害防止協会	2016年	2,160円	
参考書						
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。					

評価方法

科目試験（100%）
 不合格者に対しては、1回再試験を行う。
 必要な場合、レポートを課し、その結果も評価対象とする。

履修上の留意点

科目試験の受験資格は、1～15回目の授業のうち10回以上出席を条件とする。

オフィスアワー・連絡先

授業開始時に担当教員より連絡する。